

草の根・人間の安全保障無償資金協力 アグダシュ県で供与式を実施

2022年11月24日、日本政府が草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みで支援した「アグダシュ県ゴミ処理施設建設計画」の供与式がアグダシュ県で行われました。式典には和田純一日本国特命全権大使、イスマイル・ユシフザデ・アグダシュ県副知事及び被供与団体である発展2006社会支援公共ユニオンの代表が参加しました。

本案件にて、アグダシュ県の廃棄物投棄場の敷地内に、圧縮機、焼却炉を備えたゴミ処理施設が建設され、紙類及びプラスチック類ゴミをリサイクル資源として適切に処理し、医療ゴミを安全に焼却処分することが可能となりました。建設されたゴミ処理施設は、アグダシュ県行政局により運営され、投棄場に廃棄されたゴミの減少、地域の公衆衛生の改善が期待されています。本件に際し日本政府は、施設の建設、機材の導入に必要な資金として約 152,310 マナト(90,124 米ドル)を供与しました。

これまでアゼルバイジャンで署名された草の根無償資金協力による事業は総件数 283 件にのぼり、供与総額は 2389 万米ドルを超えています。

草の根無償資金協力は、地方公共団体、教育機関、医療機関等の非営利団体が資金協力を要請することができる事業であり、在アゼルバイジャン日本国大使館に対し申請をすることが出来ます。

